

D.....09

東福寺 イロハモミジ

本町十五丁目
(本町通東大路下ル)
高さ 8.5m
幹周 0.88m
かえで科 / 落葉高木



広大な境内に多くの塔頭が建ち並ぶ東福寺は、様々な種類のモミジが育ち、古来より紅葉の名所として知られています。紅葉の秋には、参道に架かる鳥居橋の周辺から境内地にかけてイロハモミジが鮮やかに色づき、多くの人々を魅了します。

D.....10

東福寺(臥雲橋南詰) トウカエデ



本町十五丁目
(本町通東大路下ル)

高さ 23.4m
幹周 3.00m

かえで科 / 落葉高木

洗玉瀧溪谷のモミジで通天橋からはもちろん、下流の臥雲橋からもよく見えます。



トウカエデ

かえで科

中国原産の落葉樹。日本には18世紀初期に渡来しました。京都では東山区の東福寺の通天橋付近に植えられたことから、通天楓(つうてんかえで)ともいわれています。

葉は三角状で、浅く三つに切れ込んでいて、秋には鮮やかに紅葉します。直立した幹から太い枝が四方に伸び、樹皮はこぶ状になり、力強い樹形をつくります。生長が早いうえ、剪定によって、こじんまりとまとまった樹形に仕立てることができるので、狭い道路の街路樹としても植えられています。

